

2025 年 7 月 2 日

乳腺外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「当院におけるホルモン受容体陽性 HER2 陰性 T1N0M0 乳癌症例の検討」

への協力をお願い

乳腺外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に、当科において、乳癌手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性 T1a-bN0M0 乳癌の予後は、10 年乳癌死亡率が 5%以下、10 年無再発生存率が 90%以上との報告が多く、非常に良好とされています。乳癌診療ガイドラインでは、術後内分泌療法が推奨されていますが、その副作用により継続困難となる場合もあり、近年ではその省略の是非についての検討がされています。そこで、当院における乳癌患者さんのデータを分析することで、今後の診療の一助になるのではと考え、本研究を計画しました。

研究に用いる情報の項目：

これらはすべて日常診療で実施された項目です。

- ・手術時の年齢
- ・臨床病期（術前での腫瘍サイズ、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無）
- ・サブタイプ（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2 の発現の有無、MIB-1 index または Ki67）
- ・術式
- ・手術検体の病理結果（組織型、腫瘍サイズ、リンパ節転移の有無、核グレード、組織学的グレード、脈管侵襲の有無）
- ・術後補助療法の内容（内分泌療法、化学療法、放射線療法）
- ・術後内分泌療法の期間
- ・再発の有無、再発様式

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 10 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科

氏名：二村 学

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科

電話番号：058-230-6231

氏名：大川 舞

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp